



2023年11月27日

各位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号: 7047 東証グロース・福証Q-Board)
問い合わせ先 常務執行役員兼 辻本 拓
財務IR部長
TEL. 03-5937-6466

エネルギー領域の成約単価状況について

2023年6月13日付開示の通り、6月1日からの大手電力7社の一般家庭向け電気料金の値上げにあわせ、各電力事業者も料金値上げをしていることから、2024年3月期第2四半期以降当社の販促支援サービスエネルギー領域において電力事業者からの成約単価が改善傾向となっており、2024年3月期第2四半期決算においても、エネルギー領域前年同期比98%売上増収、298%事業利益増益と当社業績を牽引しております。またそれに加えて、夏季の電力需要の強い時期を含め卸電力市場価格が落ち着いて推移していることもあり、電力事業者の獲得姿勢はさらに積極化し、第3四半期以降更に成約単価が改善し、当社業績にポジティブな影響見通しになっておりますことをお知らせいたします。

記

1. 概要

当社は「社会的負債を、次世代の可能性に。」をパーパスに掲げ、社会課題に対して、テクノロジー×リアルで解決していくことを目指し、人材採用、販促における成約支援事業を展開しております。販促支援サービスでは2022年3月期第4四半期より、INE社の子会社化を通じてエネルギー領域への参入を決定しました。2023年3月期においては、エネルギー市場における外部環境が厳しいなかで、当社事業は善戦し、電力成約件数で年間16.7万件の規模となり、当社グループ業績拡大に大きく寄与しております。また、2023年5月12日付開示「株式会社Five Lineの株式取得（連結子会社化）及び第三者割当による自己株式処分並びに資金の借入に関するお知らせ」の通り、新たに電力成約件数年間11.2万件規模の企業であるFive Line社の子会社化を決定し、2024年3月期第2四半期より連結対象となっております。Five Line子会社化により、INE社とあわせて電力成約件数年間30万件規模となり、国内最大規模※1の電力成約支援事業者となりました。

エネルギー市場の外部環境については、2023年3月期は非常に厳しい状況で、電力事業者の新規顧客獲得余力は低下し、成約単価も低下傾向、当社取引先事業者の中でも一時的に新規顧客獲得を停止される事業者も出ておりました。

しかしながら、2023年6月からの各地域電力事業者の電気料金値上げにより、その他の電力事業者についても地域電力事業者の料金を基準に値上げをしていく動きとなっております。

それにより、当社エネルギー領域の総成約単価が第2四半期より上昇基調となっており、成約単価改善寄与及びFive Line社の連結も加わり、2024年3月期第2四半期決算においては全サービスでエネルギー領域の売上貢献度が最も大きく、前年同期比で売上収益が98%増、事業利益が298%増と大幅な増収増益となっ

ております。電気料金値上げに加えて、夏季の電力需要が強い時期を含めて卸電力市場価格が落ち着いて推移していることもあり、需要期に向け各電力事業者の新規顧客獲得意欲は更に高まっている状況となります。それにより、第3四半期において成約単価改善基調が継続し、需要期となる第4四半期においては更に成約単価改善が強まることを見込まれており、当社での成約件数が最も多い大手新電力事業者の成約単価につきましては、2023年7月から前年同期比で約20%改善した単価から、更に約20%の改善が2023年12月から予定されております。

成約単価改善については、電力事業者側の新規顧客獲得意欲が強いことに加えて、当社がエネルギー領域の国内最大規模の電力成約支援事業者として電力事業者に対するプレゼンスが高まっていることも成約単価の改善に寄与しております。

※1「国内最大規模」：当社調べによるものになります。

2. 今後の見通し

2024年3月期業績予想においては、1ユーザーあたりの成約単価の回復（改善）については、計画数値に織り込んでいないため、単価の改善は売上収益、利益ともに直接的にポジティブな影響となります。

2024年3月期第2四半期よりエネルギー領域の業績が好調な推移となっておりますが、第3四半期における成約単価改善継続及び需要期である第4四半期における更なる改善による影響について今後業績変化により、開示が必要となりましたら速やかに公表いたします。

以 上